

『土船かわら版』



「桃の花と安達太良山」
撮影：阿部ヒデ子さん

活動報告

『土船地区防災計画完成』

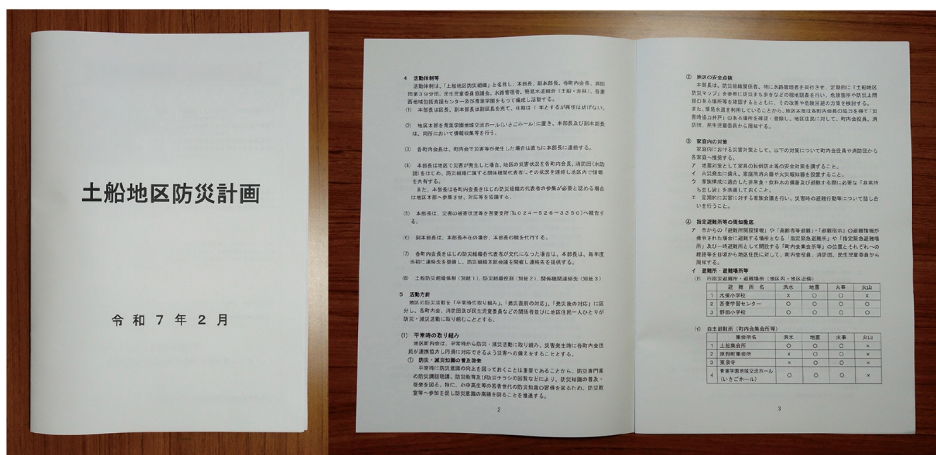
ご報告：土船区長 吾妻明子さん

この計画書は令和5年の「土船地区防災マップ」作製委員会を中心に、吾妻支所や市危機管理室のご協力を頂き作成しました。

令和6年8月25日の第1回ワークショップで作成手順を確認し11月10日の第2回ワークショップを経て令和7年1月19日には概成版を確認、この度「土船地区防災計画」が完成しました。

この計画の目的は、「大雨」、「地震」、「大雪」等の自然災害、および「大規模火災」などの災害発生時もしくは災害が予想される場合に、「自らの命は自らが守る」を防災の基本としながらも地区で助け合い、支え合いながら災害から地区住民の命を守るため、また防災意識の高揚と防災力の向上を図るためのものです。

すでに皆様のお手元には計画書が届いていることと思います。予想される災害や防災マップによる危険個所の再確認、防災組織体制やその役割、指定避難所、災害発生時の対応などをご確認いただき、適切な対応をとるための資料にしていきたいと思います。



活動報告

『土船ももりん会 初の野外活動』

ご報告：会長 井埜ヒロさん

こんにちわ。初めて投稿させていただきます。土船ももりん会は令和2年、地区の皆さんの協力のもと発足し、満5年が過ぎました。

部活は毎週木曜日の午前9時30分より10時まで、土船集会所にてももりん体操を主に、お口の体操、手・指の運動、吾妻西地域包括支援センターによる勉強会、笑いヨガ、体力測定等を行っています。今回、2月27日には佐久間邸でおこなわれていた「つるし雛」を見学し、老人福祉センターでお昼を食べるという初の外部活動を行い、楽しい一日を過ごしました。

これからも、ももりん体操を主に、みなさんと楽しく活動していきたいと思います。家の内から一歩踏み出し、ももりん体操にぜひご参加下さい。お待ちしております。



佐久間邸で行われていた「都留市雛」を担当し、交流を深めました

今年で6年目を迎える「土船おでかけサポート」は、市内外に良き実践例として広がり、各地域でますます活用され始めています。今回は土船区内のボランティア運転会員をご紹介します、今後ますます利用が期待される「高齢化時代の足」について考えて行きましょう。

『土船おでかけサポート』を利用したい時（手順）

- ① 町内会長に利用したい旨を申し出て下さい
 - ② 町内会長が持っている「利用申込書（同意書）」に記入して下さい
 - ③ 町内会長が青葉学園まで②を持参し、同町内会で運転会員をご紹介します
 - ④ 利用の3日～1週間前までに担当の運転会員に電話で相談（日時・目的地など）
- ★ 移動支援専用保険の補償内でのボランティア運行となります



土船区の運転ボランティアさん

第1町内会	板井輝夫さん 佐藤由広さん 穴戸響子さん 穴戸定雄さん 穴戸修一さん 穴戸健さん 穴戸雅樹さん
第2町内会	佐藤浩美さん 穴戸善邦さん 清野和夫さん
谷地頭町内会	穴戸次雄さん 穴戸次夫さん 渡辺恭雄さん
第4町内会	吾妻明子さん 阿部美智子さん 長南きよ子さん 長澤明雄さん
第19町内会	穴戸裕道さん

● 土船区からのお知らせ「福島市農業振興基金活用事業について」

農林業振興基金は、荒廃農地等に設置した太陽光発電施設の事業者から抛出される売電収入実績の3%に相当する寄付金を原資としています。福島市ではこの基金を活用して農業・農村の振興に取り組みを支援することとしています。

この中で特に太陽光発電施設がある「佐原」「水保」「松川町水原」の電源立地地域については包括的交付金が毎年度交付され、水保地区には令和6年度から令和23年度まで18年間、毎年620万円交付される予定です。

水保地区は、高齢化が他の地区に較べて早いスピードで進み、担い手不足により未耕作地、耕作放棄地が増加しており、近隣農地の営農に支障をきたすばかりでなく、景観阻害あるいはクマ、イノシシ、シカ等有害鳥獣の被害も増え、農村環境が大きく損なわれてきています。

耕作放棄地は、現在農業を担っている70代、80代がリタイアすると急激に増加することが見込まれ早急な対策が求められております。

現在、水保地区の基金活用事業については、水保地区区長会、農業委員等を中心に福島市と協議していますが、地域のこのような状況を鑑み、基金事業の推進組織として「水保地区農林業振興協議会（仮称）」を組織し「地域環境の保全」「担い手の確保・育成」等の方策について検討しています。



祖父母が住まなくなり長年空き家になっていたこの家ですが約半年ほどかけて修繕・リノベーションをして2022年に引っ越してきました。本業としては夫婦2人でminami design officeというデザイン事務所を営んでおり、広告デザインをはじめロゴデザインや商品パッケージデザインなどを行っております。

店舗 trimcas- トリムケース - は昨年4月にオープンし、まもなく1周年となります。お店ではデザインのお仕事で携わった商品を取り扱っています。クライアントさんと一緒に丹精込めて作ってきた商品を知ってもらいたく、県内外の食品メーカーさんの商品を扱うアンテナショップとして運営しています。他にも作り手の想いや、バックストーリーに感動した美味しいものや、長く愛されてきたデザインをもつヴィンテージ食器、食卓を明るく照らす小さなオイルランプなども販売しております。商品を組み合わせて贈り物などもできますのでぜひお気軽にお越しください。

お店の営業日はデザインのお仕事をしながら隙間を見て営業しているので不定期の営業になっています。毎週営業日はHPとInstagramで更新していますのでチェックして頂ければ幸いです。



南大地さん・玲さん

福島市土船字上林 3-8
TEL 024-563-7291
Mobile 090-7335-1718



<https://minamidesignoffice.com/trimcase>



<https://www.instagram.com/trimcase/?hl=ja>

取・Bee2Nuts(自社商品)福島産のはちみつを使ったハニーナッツ
扱・お茶の小野園(郡山市)フレーバーティー「エルバレーター」
食・山中煎餅本舗(喜多方市)手焼きのお煎餅各種
品・創作ジャム専門店 salz(仙台市)創作ジャム各種 など



3月2日(日)土船集会所にて第64回土船簡易水道組合総会がおこなわれました。まず総会開催にあたり去年は断水・節水などで不安・不便をおかけしたことの謝罪いたします。また皆様のご協力のおかげで危機を乗り越えたこと御礼いたします。現在は水不足の心配ないですが、水源地の水位が以前より少ないので今以上に水の確保ができるように昨年つないだ水源余水配管を太くして水を確保するとともに、配管の老朽化による漏水対策をして水の増量をしていきたいと思ひます。

今総会も沢山の方に参加して頂き潤滑に議事もおこなわれ、多数の賛同を得て総会を終えられたこと感謝申し上げます。今期は役員改選もあり新役員一覧も掲載させて頂きまひますので、小さなことでも良いのでご相談ください。

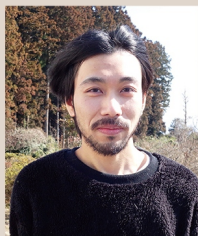
お知らせ

土船簡易水道組合 令和7・8年度役員

No.	役職名	新	氏名	班
1	組合長		穴戸 長一	刈野原
2	副組合長		長澤 明雄	原野町2
3	副組合長	新	板井 輝夫	上古屋
4	会計		後藤 誠二	原野町2
5	理事(第一)		佐藤 由広	上地武内
6	理事(第二)		佐藤 光一	地武内
7	理事(谷地頭(第三))		斎藤 健一	谷地頭3
8	理事(第四)	新	梅津 弘行	原野町1
9	監事		梅津 司	原野町2
10	監事		穴戸 勝弥	辻内
11	水道管理者		穴戸 次雄	谷地頭2
12	副水道管理者		亀山 清	谷地頭3
13	副水道管理者	新	安田 明広	刈野原
14	副水道管理者(事務局)		神戸 信行	刈野原(青葉学園)

赤林水道組合 令和7年度組合長

栗原 孝則



絵画紹介

土船在住 佐藤大介さんの作品

55×75
mm

「水彩による小さいスケッチ」

しばしば色や構図を研究したい時に水彩で10cm以下程度の小さい絵を描きます。水彩には独特の滲みやサラッとした透明感があり、好きな画材の1つです。



85×55mm

60×80
mm



若者に負けず
ご投稿下さい！

穏やかな春の日に
青春時代が刻々と
活写されています

「春来る 故郷の桜を 想う日々」
「桜咲く 光のごとく 時はゆく」
「夜桜や 水面に映る 花と月」
「うららかな 空に今日も 笑顔向け」
「八重桜 君への想い 風に乗る」



お知らせ

「土船シネマサロンについて」

毎月第2火曜日の「土船シネマサロン」では、映画の上映に引き続き、おしゃべりに花を咲かせて楽しんでいます。お気軽にご参加ください！お待ちしてま〜す！（参加費100円＋善意＋持ち寄り歓迎！）

ボランティアで珈琲の提供に駆けつけて下さっている梅津さんと、毎回、絵画作品をご提供くださる佐藤さんのコラボが実現します！AXEビル2階のBlueBeensCoffeにて作品展示予定！詳細は後日！

佐藤大介画伯が登場し、
絵を見せて下さいました！

毎月第2火曜
13時30分〜



投稿写真
募集中！

阿部ヒネ子さん撮影

残念ですが今回が最後の投稿とのこと。これからもお散歩の途中で出会った風景をご無理なく共有頂ければ嬉しいです！

「2年間に渡り載せていただき、ありがとう御座いました。私自身も身近な所に、四季折々、こんなに綺麗な風景や、草花、時間の経過による美しさ。朝焼け、夕焼け、雲海、虹など、ワクワクさせられましたし、この感動を皆様にも、分けてあげられたらと勝手ながら続けて参りました。今回を最後に閉じさせていただきます。」



雪をかぶる紅梅の花



雪の下より福寿草の花が



梅の花と安達太良山



水仙の花と安達太良山

県外にお住まいのご家族やお知り合いに「かわら版」をお送りください！
青葉学園で無料配布中！

2025.04.01. Ver.29

広報紙『土船かわら版』 第29号 発行 福島地域福祉ネットワーク会議

事務局 〒960-2152 福島市土船字新林 24 番地 社会福祉法人青葉学園内

Mail: fukushima.chiikifukushi.ntwk@gmail.com Tel: 090-6553-1584・024-593-1022

※部数ご入用の方はご遠慮なくお問い合わせください ※ご希望・ご提案・ご相談も受け付けております